

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・スーツ、礼服などの重衣料を購入する客や、単価を気にしないで購入する客の割合が増えている。出張や結婚式を機会に服の購入をしようとする気運が、消費行動のなかに表われている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・今月は衆議院選挙があったにもかかわらず、高額商材が売れたため、客単価が上がっている。お金を持っている客が増えたように見受けられる。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・特に販売量の動きが活発であり、前年比約102%となっている。医薬品、化粧品的好調は相変わらずであるが、更に生活にすぐには必要ではないバッグなどの雑貨類の売行きが良い。
		百貨店（買付担当）	お客様の様子	・前月に引き続き秋物が好調に推移しているが、特に定価品の動きが良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・10月の売上は前年比99%であるが、9月の売上は95.8%のため、若干の改善が見受けられている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・1品単価が上昇しているため、来客数は若干減少しつつも、それ以上に客単価が上がっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・以前からの客単価や買上点数の好調が継続している。今月も特に大きなイベントやキャンペーンがなかったにもかかわらず、堅調に推移している。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・9月に1度寒くなったこともあり、秋冬物商材の立ち上がり早い。例年と比較しても高単価な商品の動きが活発である反面、全体の来客数が伸び悩んでいることが懸念材料である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・年末に向けて営業活動を強化しており、その効果が徐々に表れてきている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注量が増えている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・衆議院選挙や台風の影響が多少あったものの、駅前を取り巻く集客環境は依然として好調である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・多くの全国大会や東北地区大会が地元で開催されている。その恩恵を受けて、宿泊部門はかなりの高稼働率を維持している。また、インバウンド誘致による飛行機の直接乗り入れがあり、台湾から多くの観光客が来日している。婚礼部門が若干の落ち着きをみせているものの、一般宴会も好調であり、全体的に上向きで推移している。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・国内団体旅行の受注件数が増えている。また、個人での国内航空券購入件数も増えている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・各企業の業績が良く、日経平均株価も値上がりしており、景気は上向きになっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・自宅でWi-Fiを利用する頻度が増えているため、インターネットの固定回線を導入する利用者が増加している。価格競争は厳しく、他社と比較して低価格のメニューが人気である。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・秋に入ってから受注量が多く、単価が上がってきている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	来客数の動き	・リピーターによる受付が前月より7%増えている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年であればイベントも多く、来客数、販売量の増加に期待できる時期であるが、衆議院選挙や大型台風で出足が鈍り、特にサービス関連、飲食店関係は苦戦の月となっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・9月以降は暖かく良い天候が続いて雨の日も少なく、来客数は少しずつ増えている。また、飲食店、更に衣料品関係は、バーゲンによるものではあるものの、ここきて秋物の動きが大変良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・衆議院選挙が行われ、街中はにぎわったものの、消費者の購買意欲に変化はない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年どおりの注引量はあるものの、販売量は減少している。	
	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・突然の衆議院選挙による売上への影響はそれほどないものの、平日は相変わらず飲食店への配送が少なく静かである。	

一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・最低値まで落ち込んだ7月の来客数と10月の来客数が同程度となっているなど、来客数の減少傾向が顕著に表れている。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。低額商材の動きが鈍いものの、高額商材の販売が好調なことで売上を確保している。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温の低下に伴い、秋冬物の動きに例年以上の反応がみられている。ただし、セールやカード施策などの動員をしても、単価、買上点数共に前年を下回っており、回復傾向とは言い難い。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物商戦から回復傾向にある婦人服、紳士服などの衣料品は、今月も前年を上回っている。ただし、比較的堅調であった食品がやや苦戦しているため、全体的な景気に変化はみられていない。物産展は引き続き苦戦が続いており、展開内容や商品内容の見直しが求められている。また、高額商材においては、ブランド品の店外催事が苦戦しているものの、本来の売場は堅調である。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・大きく変動する要因がなく、景気は横ばいで推移している。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・さまざまな販売施策を行っているものの、不要不買の動きはますます明確になっている。現在はそのマイナス分を高額商材の好調さがカバーしているという傾向が続いている。富裕層にとっては景気が良いといえるが、中間層に浸透しているとはいえない。
スーパー（経営者）	単価の動き	・10月の平均1品単価は前年を下回っているものの、推移は前月から横ばいである。来客数の若干の減少に伴い買上点数も同様の推移となっている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・長雨の影響により、来客数の前年比が減少している。
スーパー（営業担当）	来客数の動き	・天候の影響もあり、来客数は前年比98.3%と減少している。買上点数が前年を上回っているため、売上は前年並みを確保できているが、このことで景気に変化してきているとはいえない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・夏前と比較しても外的環境などに変化がなく、来客数も横ばいで推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月の長雨に始まり台風などもあったため、全体的に客の動きが悪くなっている。残暑もなく、夏の需要を見込んでいた商品の販売量が激減している。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・富裕層の顧客を中心に高額な冬物アウターが好調である。来客数の減少を単価の上昇でカバーしているものの、売上は前年並みとなっている。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・介護施設関連からの消耗品の受注は多いものの、衣料品の冬物作業服、事務服の動きが鈍い。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・秋物の動きが今一つ盛り上がっていない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が天候に大きく左右されており、売上が安定していない。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・東北のなかでも北東北の売上が悪い。気温の低下に伴い季節商材が売れるはずなのだが、北東北の動きが悪く、南東北も前年並みであるため、景気が良いとはいえない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移している。冷蔵庫や4Kテレビなど的高額商材は好調であり、前年を上回ることができているが、ガソリン代などの高騰により、買い控えもみられている。
家電量販店（従業員）	来客数の動き	・客単価の低下が継続している。
乗用車販売店（店長）	それ以外	・自動車メーカーの不正検査問題により、イメージダウンしている。
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・客の多くは来店前にすでに予算を設定しているが、安価な予算が多く、高額商材の販売につながらない。インターネットによる安売りが原因ではないかとみている。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上共に大きな変化はなく、横ばいで推移している。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・今月は衆議院選挙があり、飲食店の状況が悪い。店頭商品が動いているため何とかなっているものの、数字が非常に読みづらくなってきている。

	その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・長雨の影響により観光客の動きが鈍い。来客数の減少に伴い販売量も減少しており、単価も落ちている。原材料費の高騰の影響もあり景気が良いとはいえない。
	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・今のところ、販売量の動きは好調に推移している。
	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	来客数の動き	・10月は例年よりも早く寒くなっているため、販売量は前年を上回っている。ただし、仕入価格が上昇しているにもかかわらず価格転嫁が遅れているため、利益は減少している。そのため、全体としては横ばいの状態となっている。
	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・大きな変動要因もなく、夏場の天候不順による販売量は低迷の状態が続いている。
	高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・選挙の影響もあり、あまり良くない状態である。
	高級レストラン （支配人）	来客数の動き	・観光客など他県からの来客数は前年に比べて伸びている。ただし、衆議院選挙などの影響もあるのか、地元客の来客数は前年を下回っている。
	一般レストラン （経営者）	単価の動き	・3か月前と比較しても特に良くも悪くもなく、小康状態が続いている。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・レストランでの食事が、非日常的なジャンルになりつつある。ランチタイムでも以前のような女性客を中心とした活気がみられていない。このような状況が長く続いている。
	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・来客数には月ごとに波があり、来客数が好調であった8～9月と比較すれば悪くなっているものの、今一つであった3か月前と比較すればあまり変わらない状況となる。
	観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・景気が上向いていることを実感できない。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・紅葉シーズンに入り来客数は増えてきているものの、週末に台風など天候が崩れる事もあり、景気が上向いていることを実感するまでには至っていない。
	観光型旅館（スタッフ）	単価の動き	・単価は前年をやや下回っているものの、行楽シーズンに入り、単価の低下を来客数の増加でカバーしている。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・景気の動きに特に変化はないが、今月は台風などによるキャンセルが発生している。
	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・相変わらず店頭の上売が低迷している。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・価格重視の傾向が続いている。アジア方面やハワイ方面は前年並みの人気であるものの、韓国やグアムの問い合わせは少なく、欧州の落ち込みも大きい。客は様子見を続けており、海外から国内へという傾向も強い。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・発売したばかりの新型スマートフォンの安売りが始まるなど、売れない状況に苦戦している。インフラ整備も終わり通信業界は低迷している。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられていない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・コスト削減の話ばかりであり、新サービスが売れない状況が続いている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・相変わらず商品購入に至る決定要因は価格重視となっている。
	観光名所（職員）	単価の動き	・天候に恵まれず、来客数が振るわない。ただし、客の購買意欲は高く、天候の良い日は同じ来客数でも客単価が高い状態となるため、景気がどの方向に向いているのか判断しにくい。
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・中旬まではまずまずの来客数であったが、後半の週末に2度も台風が襲来し、期待していたイベントに打撃を与えている。結果として、来客数は前年比において20%を超える落ち込みとなっている。
	競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ数か月、固定客のみの来客数となっている。新規客が少ないため売上も増えていない。
	美容室（経営者）	単価の動き	・客単価の前年比は横ばいで推移している。

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・不動産から取得する顧客が増えているが、決定までの時間が長く受注予定が組みづらくなっている。	
	一般小売店〔書籍〕 (経営者)	販売量の動き	・政治に対する不安や、ネット通販の利用頻度の増加など、景気が良くなるような要因がない。	
	一般小売店 〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・天候が悪い日が多く、来客数が減少している。	
	一般小売店〔寝具〕 (経営者)	販売量の動き	・急に寒くなったため冬物商材の需要を期待しているが、客の反応は今一つ鈍いままである。	
	スーパー(営業担当)	来客数の動き	・売上は横ばいであるが、競合店の出店により来客数は98%と減少傾向にある。チラシやポイント販促策の強化により、客単価、買上点数共に102%台で推移しているが、競合店による来客数減少に歯止めがかからない状況である。	
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・客の動きがかなり悪くなっている。競合店が増えたこともあるが、建設関係や、まだ稲刈りが残っている農業関係の客の動きが鈍い。	
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・前半は来客数、客単価共に良かったが、後半の来客数は前年を下回ったため、売上は前年に届いていない。	
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・コーヒーやドーナツなどのカウンターフーズの販売量が減少しており、来客数も前年比で3ポイント減少している。	
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・前月は単価が悪くなかったが、10月は天候不順の影響により、来客数が減少している。	
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・夏に比べれば来客数、売上共に減少している。また、前月から除雪の支払も始まっており、経営的には厳しくなっている。ただし、客単価の前年比は100%を維持しているため、客の購買意欲は低下していないとみている。	
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・相次ぐ自動車メーカーの不正検査問題による、自動車業界全体に対する不信感の拡大が心配である。	
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・自動車メーカーの不正検査問題によるリコールで、販売量が伸び悩んでいる。	
	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・市場で会う同業者からは、あまり景気は良くないと聞いている。夜の繁華街の景気は全体的に落ち込んでいる。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は衆議院選挙の影響なのか、来客数が激減している。8～9月が好調であったため、かなりの痛手となっている。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・地元客による夜の外出率はかなり低い。イベントがあれば県外からの客で来客数を維持できるが、それが必要ならかなり厳しくなる。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・O157や冷夏の関係かレストランの来客数が芳しくない。衆議院選挙の影響もあり、飲食関係の売上が厳しい。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊部門、宴会部門、レストラン部門全ての数字が前年に届いていない。競合店オープンの影響もあるが、市内全体で宿泊客が減少している。また、衆議院選挙の影響もあり、レストランの来客数も減少している。	
	観光名所(職員)	お客様の様子	・入場料金が発生すると聞いて帰る客が多く、特に年配の男性客に多い。	
	美容室(経営者)	お客様の様子	・客は高齢者が多く、施設に入所するなどして、だんだんと来客数が減少している。	
	×	スーパー(経営者)	お客様の様子	・衆議院選挙があり、消費税増税の議論が高まっている。また、米の不作、デフレなどの要因で、消費者の財布のひもは固く締まっている。
	×	その他専門店 〔靴〕(従業員)	販売量の動き	・客は必要な物や安い物は購入するものの、それ以外の購入には慎重である。
企業 動向 関連 (東北)	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・民間工事に合わせ、公共工事の受注も確定するなど、3か月前と比較すると景気拡大の傾向にある。	
	金属製品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・好調な受注が続いており、なかには断る案件もある。人手不足により製造できないことが原因の1つであることから、動向を注意深くみていく必要がある。	
	電気機械器具製造業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・半導体電子部品の価格が高値を維持している。	

	金融業（広報担当）	取引先の様子	・企業の設備投資意欲が改善している。指標によっても、最新の建築物着工床面積は増加しており、数か月ぶりに前年同月を上回っている。
	広告業協会（役員）	それ以外	・10月は衆議院選挙の効果もあり、新聞社への出稿は前年を上回り、テレビ各社も前年並みに回復している。流通商業関係も持ち直している様子である。
	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内よりも県外、主に首都圏での販売量が良好である。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年は例年あった企画がなく、土日に台風が来たこともあり、前年と比較して売上は減少している。しかし、今年から販売を開始しているハロウィーン商品により、多少のカバーができています。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・衆議院選挙により、旅行者などの人の移動が少ないため、土産物の販売が苦戦している。
	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・天候不順により販売店の売上が悪い。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年ほどの過熱感はないものの、受注は依然として好調である。また、円安に伴う輸入原材料のコストアップ分の価格転嫁についても、徐々に進んできている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きなイベントがあり、一時的に売上は増えている。ただし、取引先からは、特に飲食店の景気が下降していると聞いている。
	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・4～9月における東北地域の出荷量は、前年比101.7%となっているものの、落ち込みが激しかった前年との比較のため、下げ止まったままで回復はみられていない。老朽化したプラントや設備の更新を控えている工場も多く、さらに、ミキサー車の運転手の募集をしても、オリンピック需要で首都圏に人が取られているのか、なかなか集まらない。
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要荷主商品に輸出増が見込まれている。当社の取扱となる予定であるが、まだ実績にはなっていない。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・地道な営業活動が実を結ぶということを実感しているものの、まだまだ景気の不透明感は拭き取れない。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・中小企業、地方企業への優遇施策がない。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信業界は全体的に大きな伸びが期待できない状況である。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・県外に販路を見出している企業は業績が良いが、県内の販路のみの企業はパイの奪い合いとなっている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に仕事のボリュームが減ってきている。今月は衆議院選挙により広報活動の仕事が増えたものの、それを除けば大幅減の状態となっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・大型商業施設では、一定の出入はあるものの、購入客の割合はそれほどでもない。
	公認会計士	取引先の様子	・小売業、サービス業の決算状況は悪化している。ただし、建設業の月次状況は相変わらず黒字基調のため、全体的にはやや好調の印象がある。
	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・地元スーパーの話では、全体的に店頭価格は低下の傾向がみられている。売れる商品も特売価格の商品が主流であり、利益に結び付きが苦戦している状況が続いている。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・天候が悪く、特に週末に襲来する台風の影響により、秋物商戦のチラシ印刷需要が、前年に比べてかなり少なくなっている。
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・8月の長雨の影響でももの品質が低下しており、販売価格が2～3割安くなっている。
	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・天候不順の影響により、米の収穫量は例年になく不作となっている。
	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売価格の上昇により、販売量が5%ほど減少している。今年に入ってから、販売量減少に歯止めがかからない。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月、売上の前年同月比は約10%の落ち込みとなっている。
	コピーサービス業（従業者）	受注量や販売量の動き	・毎月の売上はほぼ横ばいで推移しているものの、メイン商材である複合機の販売量が苦戦している。
	x	*	*

雇用 関連 (東北)	-	-	-
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は堅調に推移している。大手メーカーの増産の影響は裾野産業の中小企業まで波及し、採用活動に動いている印象がある。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年末の繁忙期に向けた依頼や新規依頼が若干増加している。ただし、新規登録者は依然として低調である。
	アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・途絶えることなく仕事がきている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比は、8～9月共に増加で推移している。多くの求人は未充足のための更新であるが、自動車関連、半導体関連の製造業においては、受注量などの増加による求人が増えている。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・赤字であった大型受託業務が10月で終了したことにより、収益悪化要因がなくなるものの、全体的には3か月前と比べて、現状維持の状況となっている。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・地元の中堅、中小企業では大学生の新卒採用が進まず、この8月からは中途採用に切り替えている。特に、外食産業、不動産、小売業、卸業の企業は、中途採用の活動を強化している。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者は増えているものの、より高条件を求める傾向が強く、求人とのミスマッチが多い。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・年末商戦前にもかかわらず、中小企業の採用意欲は薄い。
	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・大都市に集中している人手不足の余波は、地方にも影響している。被災地では、ようやく社員募集をかけられるようになったものの、応募がない状態であり、結果として求人数はあまり増えていない。
	新聞社[求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・県内では、大量の解雇や希望退職者の募集による離職者が増加傾向にある。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・求人倍率の高い状態が継続しているものの、賃金の上昇や正社員待遇の求人の増加はみられていない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・人手不足の状況に変化はない。募集は続いており、また、退職者を出さない努力も続いている。
	学校就職担当者	求人数の動き	・獲得新卒求人数は、前年同期と比較して微増状態であり、特に変化はみられない。
	職業安定所(職員)	採用者数の動き	・ここしばらく、大手時計工場の人員整理が続いている。
職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は、ここ数か月間減少傾向が続いている。特に建設業、製造業からの求人が大幅に減少している。小売業ではフルタイムの求人数は少ないながらもそれほど変化はないが、パート求人は減少傾向にある。	
x	-	-	-